

# 意見書

定例会最終日(12月20日)に議員提案として次の意見書が上程され、表決の結果、全会一致で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

## ◎核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

本年7月7日、国連において、人類史上初めて、核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、加盟国の3分の2(122カ国)の賛成で採択された。その後、条約に署名した国は50カ国に達しており、その実現に向け大きく前進している。

核兵器禁止条約は、その前文に「ヒバクシャの苦難を心に留める」との文言を盛り込み、加盟国に核兵器の開発・保有・実験・使用を禁止するにとどまらず、核兵器による威嚇行為も禁じている画期的なもので、また、その一方においては核保有国が条約に参加する道もつくられている。2017年のノーベル平和賞は、「核兵器禁止条約」の

採択に貢献した国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)が受賞しており、この受賞によって、核保有国とその傘に入る国を動かす大きな原動力になるものと確信している。

日本国内では、速やかな核兵器廃絶を願い、核兵器使用を禁止する条約を結ぶことを全ての国に求める「ヒバクシャ国際署名」に、875自治体の首長が賛同し、署名しており、また、世界の7千43都市が加盟する平和首長会議においても、核兵器禁止条約の締結を求める取り組みが進められている。

政府には、唯一の戦争被爆国として、今こそ自らが明言した「核兵器のない世界を目指す」リーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めるとしたとおりの行動が求められている。

よって、「核兵器禁止条約に一日も早く署名及び批准すること」の早期実現を求め、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

# 11月臨時会

第428回市議会臨時会が、平成29年11月29日に開かれ、市長提出議案4件の審議を行い、全会一致で承認・原案のとおり可決しました。

各議案の内容は次のとおりです。

なお、意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

## ◎専決処分承認を求めることについて(専決第6号)(平成29年度白石市一般会計補正予算)

承認

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ2千513万円追加し、予算総額を169億2千162万7千円としたものです。

専決の主な内容は、去る10月22日に投票となった衆議院議員総選挙に係る経費及び社会福祉総務費、総合福祉センター費を増額する一方、予備費を減額したものです。

### ●主な内容

- 条列名 (変更前)
- 白石市商家資料館条例 (変更後)
- 白石市温麺食文化伝承館条例

### 原案可決

子育て支援・多世代交流複合施設整備工事の請負契約について、条例の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

### ●契約の方法

- 条件付一般競争入札
- 契約の金額 2億6千406万円

### ●契約の相手方

大木建設株式会社  
東北支店

### ◎白石市商家資料館条例の全部を改正する条例

### 原案可決

白石市商家資料館について、現況を踏まえ施設の名称及び目的を改め、伝統ある白石温麺による更なる地域活性化を図るため、条例の全部を改正するものです。

### ◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第5号)

### 原案可決

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ400万円追加し、予算総額を169億2千562万7千円とするものです。

補正の主な内容は、台風21号により被災した公共土木施設などの災害復旧に係る経費等を増額するものです。